

日常生活での悩みや不安は……

老後の生活設計や
自分や家族の健康

平成23年は東日本大震災という未曾有の大災害があり、漠然とした感じではあっても、なんとなく不安な毎日を送ったという方も多かったのではないのでしょうか。

内閣府が平成23年10月に行った「国民生活に関する世論調査」から、日常生活での悩みや不安について見てみましょう。

日頃の生活の中で、「悩みや不安を感じている」と答えた人は67.1%で、前回の調査結果と比べて大きな変化はありませんでした。年齢別に見ると、「感じている」と答えた人

は40歳代、50歳代で高くなっています。

それでは、「感じている」と答えた人(4170人)に、悩みや不安の内容を聞いてみると、高齢社会の到来と経済の長引く低迷を反映してでしょうか、「老後の生活設計」を挙げた人が54.6%と最も高く、以下、「自分の健康」「今後の収入や資産の見通し」「家族の健康」などの順となっています。

前回の調査結果と比べてみると、「老後の生活設計」(52.4%→54.6%)、「今後の収入や資産の見通し」(39.7%→41.8%)を挙げた人

が上昇し、「家族の健康」(42.6%→38.9%)を挙げた人が低下しています。都市規模別では、「家族の健康」は町村で高くなっています。

性・年齢別では、「老後の生活設計」は男性の50歳代、60歳代、女性の40歳代から60歳代で、「自分の健康」は男性の60歳代、70歳以上、女性の60歳代、70歳以上、「今後の収入や資産の見通し」は男性の20歳代から50歳代、女性の30歳代から50歳代で、「家族の健康」をは女性の50歳代、60歳代で、それぞれ高くなっています。

日常生活での悩みや不安の内容(複数回答、上位4項目、%)

